



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月9日

上場会社名 乾汽船株式会社
 コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートマネジメント部長 (氏名) 加藤 貴子
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5548-8613

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第1四半期 | 5,697 | 16.9 | 143 | — | △30 | — | △134 | — |
| 2018年3月期第1四半期 | 4,873 | 8.2 | △227 | — | △274 | — | △262 | — |

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △41百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 △195百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第1四半期 | △5.43 | — |
| 2018年3月期第1四半期 | △10.48 | — |

(注) 当第1四半期連結会計期間より、表示方法の変更を行っており、2018年3月期第1四半期の営業利益については、当該変更を反映した組替後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期第1四半期 | 47,619 | 19,317 | 40.6 | 777.62 |
| 2018年3月期 | 48,412 | 19,880 | 41.1 | 800.31 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 19,317百万円 2018年3月期 19,880百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間の期首より、『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を適用しており、2018年3月期の総資産及び自己資本比率については、当該変更を反映した組替後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 3.00 | — | 21.00 | 24.00 |
| 2019年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2019年3月期(予想) | — | 6.00 | — | 26.00 | 32.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 11,196 | 16.0 | 135 | — | △114 | — | △232 | — | △9.34 |
| 通期 | 22,445 | 9.1 | 1,412 | 72.6 | 1,073 | 42.1 | 2,210 | 21.4 | 88.96 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

当第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行っております。会計方針の変更の内容については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表注記事項(会計方針の変更)」に記載しております。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2019年3月期1Q | 26,072,960 株 | 2018年3月期 | 26,072,960 株 |
| 2019年3月期1Q | 1,231,502 株 | 2018年3月期 | 1,231,227 株 |
| 2019年3月期1Q | 24,841,627 株 | 2018年3月期1Q | 25,052,989 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想(2019年3月期の連結業績予想)については、2018年5月11日公表の数値から修正しております。詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

当第1四半期連結会計期間より日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (表示方法の変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

以下の経営成績、財政状態に関する説明については、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)及び(表示方法の変更)」に記載のとおり、組替え後の前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の数値を用いて説明しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるスモールハンディ船市況の回復により、売上高は前年同期比823百万円増収(+16.9%)の5,697百万円、営業利益は前年同期比370百万円増益の143百万円、経常損益は前年同期比244百万円改善し30百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期比127百万円改善し134百万円の損失となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下の通りであります。

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるスモールハンディ船の市況は、堅調な荷動きを背景に、緩やかな回復基調を維持しています。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、スモールハンディ船市況が前年同期より改善したことにより、売上高は前年同期比737百万円増収(+28.8%)の3,295百万円、セグメント損益は前年同期比274百万円改善し、334百万円の損失となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高及び貨物取扱量は前年同期をやや上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、連結子会社であるイヌイ運送株式会社における引越事業の取扱高の増加等により、売上高は前年同期比48百万円増収(+4.1%)の1,248百万円、セグメント利益は前年同期比3百万円増益(+10.4%)の34百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、空室率は低水準で推移しており、賃料水準も小幅な上昇が続いております。また、東京23区の賃貸マンション市況は堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件の安定した高稼働により、売上高は前年同期比37百万円増収(+3.4%)の1,153百万円となりました。セグメント利益は賃貸物件の保全に伴う修繕費の減少等により前年同期比83百万円増益(+15.0%)の640百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比792百万円減の47,619百万円となりました。負債は借入金の返済等により前連結会計年度末比228百万円減の28,302百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末比563百万円減の19,317百万円となりました。

この結果、自己資本比率は41.1%から40.6%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1,516百万円減少し、9,843百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、940百万円となりました。これは主として、非資金損益項目である減価償却費682百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、1,655百万円となりました。これは主として、固定資産の取得による支出等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、904百万円となりました。これは主として、配当金の支払い及び長期借入金の返済等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2019年3月期)の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月11日に公表した前回発表予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付開示「2019年3月期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下の通りです。

| | 当連結累計期間実績 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 第2～4四半期前提 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 為替レート (円/1米ドル) | ¥107.80 | ¥111.00 |
| 燃料油価格 (米ドル/MT) | US\$400.08 | US\$492.00 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,553 | 10,049 |
| 営業未収金 | 1,510 | 1,118 |
| 繰延及び前払費用 | 630 | 555 |
| 貯蔵品 | 435 | 574 |
| その他 | 690 | 702 |
| 貸倒引当金 | △19 | △13 |
| 流動資産合計 | 14,801 | 12,987 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 船舶（純額） | 12,617 | 13,757 |
| 建物及び構築物（純額） | 9,409 | 9,307 |
| 土地 | 378 | 378 |
| 信託建物及び信託構築物（純額） | 4,220 | 4,174 |
| 信託土地 | 204 | 204 |
| 建設仮勘定 | 1,371 | 1,384 |
| その他（純額） | 334 | 332 |
| 有形固定資産合計 | 28,535 | 29,539 |
| 無形固定資産 | 300 | 286 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,737 | 3,799 |
| 退職給付に係る資産 | 15 | 38 |
| その他 | 1,022 | 968 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 4,774 | 4,806 |
| 固定資産合計 | 33,610 | 34,632 |
| 資産合計 | 48,412 | 47,619 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 1,369 | 1,194 |
| 短期借入金 | 2,810 | 2,810 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,503 | 1,489 |
| 未払法人税等 | 6 | 70 |
| 仮受金 | 1,105 | 1,074 |
| 賞与引当金 | 87 | 27 |
| 用船契約損失引当金 | 226 | 202 |
| その他 | 1,048 | 1,256 |
| 流動負債合計 | 8,156 | 8,124 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 16,350 | 16,154 |
| 退職給付に係る負債 | 61 | 63 |
| 受入保証金 | 1,408 | 1,408 |
| 長期前受収益 | 560 | 560 |
| 特別修繕引当金 | 251 | 258 |
| 用船契約損失引当金 | 166 | 122 |
| 長期割賦未払金 | 1,433 | 1,462 |
| その他 | 141 | 147 |
| 固定負債合計 | 20,374 | 20,177 |
| 負債合計 | 28,531 | 28,302 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,767 | 2,767 |
| 資本剰余金 | 11,625 | 11,625 |
| 利益剰余金 | 5,630 | 4,973 |
| 自己株式 | △1,201 | △1,201 |
| 株主資本合計 | 18,822 | 18,165 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 607 | 658 |
| 繰延ヘッジ損益 | 36 | 55 |
| 為替換算調整勘定 | 413 | 437 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,058 | 1,151 |
| 純資産合計 | 19,880 | 19,317 |
| 負債純資産合計 | 48,412 | 47,619 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 4,873 | 5,697 |
| 売上原価 | 4,784 | 5,209 |
| 売上総利益 | 89 | 488 |
| 販売費及び一般管理費 | 316 | 344 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △227 | 143 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 41 | 43 |
| その他 | 13 | 10 |
| 営業外収益合計 | 54 | 53 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 62 | 75 |
| 為替差損 | 17 | 145 |
| その他 | 22 | 6 |
| 営業外費用合計 | 102 | 227 |
| 経常損失(△) | △274 | △30 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | - |
| 投資有価証券売却益 | 7 | - |
| 特別利益合計 | 10 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 1 |
| 投資有価証券評価損 | 17 | - |
| 投資有価証券売却損 | 13 | - |
| その他 | 2 | - |
| 特別損失合計 | 33 | 1 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △297 | △31 |
| 法人税、住民税及び事業税 | △8 | 66 |
| 法人税等調整額 | △26 | 36 |
| 法人税等合計 | △35 | 102 |
| 四半期純損失(△) | △262 | △134 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △262 | △134 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △262 | △134 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 76 | 50 |
| 繰延ヘッジ損益 | △8 | 19 |
| 為替換算調整勘定 | △1 | 23 |
| その他の包括利益合計 | 67 | 93 |
| 四半期包括利益 | △195 | △41 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △195 | △41 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △297 | △31 |
| 減価償却費 | 695 | 682 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 1 | 1 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △76 | △59 |
| 用船契約損失引当金の増減額(△は減少) | △79 | △68 |
| 受取利息及び受取配当金 | △44 | △47 |
| 支払利息 | 62 | 75 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △0 | - |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | 5 | - |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 17 | - |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 51 | 392 |
| 繰延及び前払費用の増減額(△は増加) | 35 | 79 |
| 貯蔵品の増減額(△は増加) | 369 | △144 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △105 | △190 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 14 | 45 |
| 預り金の増減額(△は減少) | 38 | 40 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 360 | 5 |
| 預り敷金及び保証金の増減額(△は減少) | 0 | 0 |
| その他 | △165 | 211 |
| 小計 | 883 | 991 |
| 利息及び配当金の受取額 | 46 | 49 |
| 利息の支払額 | △67 | △79 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △134 | △21 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 728 | 940 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △1,916 | △1,654 |
| 固定資産の売却による収入 | 2 | - |
| 投資有価証券の売却による収入 | 206 | - |
| その他 | △0 | △0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,708 | △1,655 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △573 | △417 |
| 配当金の支払額 | △190 | △446 |
| 自己株式の取得による支出 | △190 | △0 |
| その他 | △34 | △39 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △989 | △904 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △3 | 102 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,973 | △1,516 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,121 | 11,360 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,148 | 9,843 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、当社における燃料油評価方法を移動平均法から先入先出法に変更しております。この変更は、2014年10月に実施したイヌイ倉庫株式会社と乾汽船株式会社との経営統合をうけ、新会社として全社課題の検討を行うなかで、過去の燃料油価格の推移とその分析を実施し、たな卸資産の帳簿価額に価格変動による影響をより適時に反映させることを目的として行ったものです。

なお、当該会計方針の変更が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であり、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

外航海運事業における船舶賃借に伴い発生する「船舶燃料受渡精算金」について、従来、「営業外収益」又は「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「営業外収益」の「船舶燃料受渡精算金」は「売上高」に、「営業外費用」の「船舶燃料受渡精算金」は「売上原価」に計上する方法に変更しております。この変更は、2014年10月に実施したイヌイ倉庫株式会社と乾汽船株式会社との経営統合をうけ、新会社として全社課題の検討を行うなかで、各航海の採算管理方針の見直しを行い、外航海運事業の損益実態をより適切に表示するために行ったものであります。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外費用」の「船舶燃料受渡精算金」に表示しておりました57百万円は「売上原価」に組替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に独立掲記していた「船舶燃料受渡精算金」について、四半期連結損益計算書の表示方法の変更を反映させるため、当第1四半期連結会計期間より「貯蔵品の増減額(△は増加)」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「船舶燃料受渡精算金」に表示していた57百万円は、「貯蔵品の増減額(△は増加)」に組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------------------|------------|-------------|-----------|-------|-------------|-------------------------------|
| | ロジスティクス | | 不動産 事業 | 計 | | |
| | 外航海運 事業 | 倉庫・運送 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,557 | 1,199 | 1,115 | 4,873 | — | 4,873 |
| セグメント間の売上高又は振替高 | — | — | 7 | 7 | △7 | — |
| 計 | 2,557 | 1,199 | 1,123 | 4,881 | △7 | 4,873 |
| セグメント利益又はセグメント損失(△) | △608 | 31 | 556 | △20 | △206 | △227 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△206百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△206百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------------------|------------|-------------|-----------|-------|-------------|-------------------------------|
| | ロジスティクス | | 不動産 事業 | 計 | | |
| | 外航海運 事業 | 倉庫・運送 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,295 | 1,248 | 1,153 | 5,697 | — | 5,697 |
| セグメント間の売上高又は振替高 | — | — | 7 | 7 | △7 | — |
| 計 | 3,295 | 1,248 | 1,160 | 5,704 | △7 | 5,697 |
| セグメント利益又はセグメント損失(△) | △334 | 34 | 640 | 340 | △196 | 143 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△196百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△196百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更)」に記載のとおり、前第1四半期連結累計期間において「営業外費用」に表示しておりました「船舶燃料受渡精算金」を「売上原価」に組み替えております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の「外航海運事業セグメント」の「セグメント損失」は57百万円増加しております。